



# 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月27日

上場会社名 株式会社 プレステージ・インターナショナル

上場取引所 東

コード番号 4290 URL <https://www.prestigein.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員グループCEO (氏名) 玉上 進一

問合せ先責任者 (役職名) IR・CSR推進室 (氏名) 吉澤 勉

TEL 03-5213-0826

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

2023年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	28,763	9.9	3,857	0.5	4,071	0.8	2,357	4.1
2023年3月期第2四半期	26,179	17.4	3,839	25.3	4,039	28.8	2,458	32.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 3,783百万円 (3.7%) 2023年3月期第2四半期 3,648百万円 (74.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	18.42	18.36
2023年3月期第2四半期	19.26	19.17

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	65,087	44,843	64.3
2023年3月期	60,273	41,817	64.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 41,858百万円 2023年3月期 39,079百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		5.00		6.00	11.00
2024年3月期		6.00			
2024年3月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,500	3.6	8,200	4.6	8,700	3.8	5,200	2.2	40.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	128,676,300 株	2023年3月期	128,560,700 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	580,708 株	2023年3月期	580,708 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	128,025,858 株	2023年3月期2Q	127,653,875 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は2023年10月27日(金)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）におけるわが国経済は、物価高による下押しはあるものの、個人の消費拡大やインバウンド需要の回復等による内部主導の成長を維持しております。一方で、各国の金融引き締めによる金利上昇に加え、ウクライナ情勢や中東情勢による地政学リスク、各種サプライチェーン上の供給制約等、世界経済の先行き不透明感が続いている状況です。

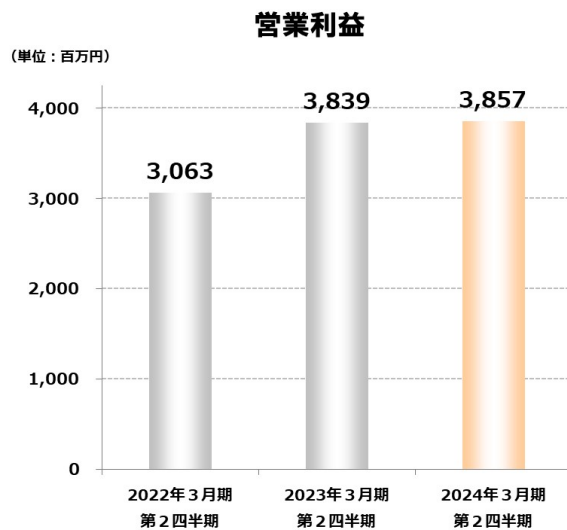
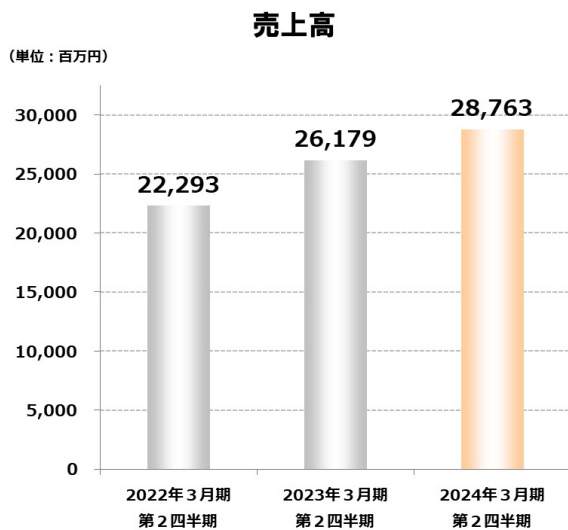
国内BPO市場においては、労働人口減少によるリソース不足や、多くの企業において働き方改革の推進を背景とした業務オペレーション見直し等により、ノンコア業務をアウトソースする動きが継続し、市場拡大の傾向が続いております。

このような環境のもと当社グループにおいては、付加価値の高いサービスを提供するべく、高い専門性が求められるサービスを提供する優秀な人材を惹きつける職場環境の整備などに取り組んでおります。また、事業運営の中心を地方に置くことで、経営環境の変化に応じて確実にサービスを提供し、BPO市場の旺盛な需要に対応してまいりました。具体的には、2024年4月には岩手県一関市に500席規模のBPO拠点「岩手BPOフォートレス」、2026年には秋田県潟上市に800席規模のBPO拠点の開設を計画しており、操業開始に先駆けて、2023年6月に「秋田BPO潟上ランチ」を開設いたしました。今後も「継続的・安定的な成長」の実現を目指し、受託能力の向上を図ってまいります。

当第2四半期の連結売上高につきましては、主力のオートモーティブ事業や金融保証事業及びグローバル事業が堅調に推移し、28,763百万円（前年同期比9.9%増）となりました。

営業利益につきましては、カスタマー事業のワクチン関連業務の縮小等による減益分を既存事業の成長により吸収し、3,857百万円（前年同期比0.5%増）となりました。経常利益に関しましては、為替差損（109百万円）が発生しましたが、持分法による投資利益（185百万円）等により4,071百万円（前年同期比0.8%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、2,357百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

	前第2四半期	当第2四半期		参考 前連結会計年度
売上高	26,179百万円	28,763百万円	(前年同期比9.9%増、2,583百万円増)	54,562百万円
営業利益	3,839百万円	3,857百万円	(前年同期比0.5%増、17百万円増)	7,840百万円
経常利益	4,039百万円	4,071百万円	(前年同期比0.8%増、32百万円増)	8,378百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,458百万円	2,357百万円	(前年同期比4.1%減、101百万円減)	5,318百万円
1株当たり 四半期純利益	19.26円	18.42円		41.62円



● オートモーティブ事業

主に損害保険会社や自動車メーカー向けロードサービス等を提供しているオートモーティブ事業は、一部クライアントとの契約形態の変更に伴い、売上高の計上に影響があったものの、ダイレクト系損保の契約台数の堅調な推移に加え、自転車向けロードサービスの成長が寄与し、増収となりました。

営業利益につきましては、業務拡大に向けた人員の補強等により原価は上昇したものの、売上高の成長に伴い、増益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	11,150百万円	12,234百万円
営業利益	1,328百万円	1,502百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+1,084百万円	+9.7%
営業利益	+173百万円	+13.1%

● プロパティ事業

分譲・賃貸マンション・戸建ての修繕とコインパーキングのメンテナンス等を提供するプロパティ事業は、ホームアシストの既存サービスが堅調に推移していることに加え、パークアシストの駆けつけ拠点新設等の投資が完了し、稼働率向上等による収益性が改善し、増収増益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	3,182百万円	3,515百万円
営業利益	183百万円	227百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+332百万円	+10.5%
営業利益	+44百万円	+24.2%

● グローバル事業

海外旅行保険のクレームエージェント、駐在員向けの医療サポート（ヘルスケアプログラム）業務等を行うグローバル事業は、米国クレジットカード事業において支払手数料が増加したものの、クレームエージェントの対応エリア拡大、ジャパニーズヘルプデスクの利用増加、ヘルスケアプログラム等のインフレに伴う価格改定等が進んだことにより、増収増益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	3,353百万円	3,940百万円
営業利益	352百万円	408百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+587百万円	+17.5%
営業利益	+56百万円	+16.0%

● カスタマー事業

カスタマーサポートサービスを展開しているカスタマー事業は、ワクチン関連業務の縮小による減収となりましたが、課題のあったプロジェクトの成長により、減収幅を抑制しました。

営業利益につきましては、売上高の減少及びコロナ禍で減少していたプロジェクトの業務増加に伴う人員補充等の原価上昇により、減益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	4,534百万円	4,300百万円
営業利益	1,137百万円	776百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	△233百万円	△5.2%
営業利益	△360百万円	△31.7%

● 金融保証事業

家賃や医療費等、生活に関わる金融保証サービスを提供する金融保証事業は、グループ会社の株式会社イントラストが展開する家賃債務保証事業及び医療費用保証の契約者数が堅調に推移したことに加え、既存サービスの拡大が寄与し、増収増益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	3,210百万円	4,287百万円
営業利益	786百万円	1,028百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+1,076百万円	+33.5%
営業利益	+241百万円	+30.7%

● IT事業

ITソリューションを提供するIT事業は、サブライチエー  
ンマネジメントシステムのライセンスの解約及び検収の遅  
れに加え、前年度上期に検収が集中した反動で、減収減益  
となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	383百万円	183百万円
営業利益	132百万円	21百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	△200百万円	△52.3%
営業利益	△111百万円	△83.7%

● ソーシャル事業

女子スポーツチーム「アランマーレ」の運営、保育事業  
及び地方創生事業を行うソーシャル事業は、女子スポーツ  
チーム「アランマーレ山形(バレーボール)」のV1昇格  
に伴いスポンサー収入が増加したものの、各チームにおけ  
る戦力強化及び活動費用が増加したため、対前年同期比で  
赤字幅が拡大しました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	364百万円	300百万円
営業利益	△81百万円	△118百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	△63百万円	△17.4%
営業利益	△36百万円	—

(2) 財政状態に関する説明

[財政状況]

当第2四半期連結累計期間期末における総資産は、65,087百万円となり前連結会計年度末に比べ4,814百万円増加  
となりました。流動資産は、売掛金が666百万円増加、立替金が2,363百万円増加いたしました。これらにより流動資  
産合計では前連結会計年度末より2,210百万円増加し、38,103百万円となりました。固定資産は、有形固定資産のそ  
の他に1,048百万円増加、投資その他の資産の投資有価証券が1,448百万円増加し、固定資産合計では前連結会計年度  
末より2,603百万円増加し、26,984百万円となりました。

負債に関しましては、契約負債が538百万円増加、流動負債のその他が902百万円増加いたしました。これらにより  
負債合計では前連結会計年度末より1,789百万円増加し、20,244百万円となりました。

また、純資産については、配当の支払いが2023年6月に発生いたしました。親会社株主に帰属する四半期純利益  
が2,357百万円となったため、前連結会計年度末に比べ3,025百万円増加し、44,843百万円となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、2,558百万円の収入となりました。主  
なプラス要因としては、税金等調整前四半期純利益が4,106百万円、減価償却費が929百万円であり、主なマイナス要  
因としては、売上債権の増加額が598百万円、立替金の増加額が2,053百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、2,439百万円の支出となりました。主  
な要因は、有形及び無形固定資産の取得による支出が2,190百万円、投資有価証券の取得による支出が815百万円、投  
資有価証券の償還による収入が146百万円、補助金の受取額が368百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、931百万円の支出となりました。主  
な要因は、長期借入金の返済による支出が62百万円、配当金の支払額が766百万円、非支配株主への配当金の支払額が  
73百万円等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前第2四半期連結累計期間より  
1,929百万円増加し、21,028百万円となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,671,467	21,048,826
売掛金	5,304,236	5,970,275
立替金	6,549,144	8,912,723
商品及び製品	69,380	63,039
仕掛品	173,593	242,606
原材料及び貯蔵品	63,840	80,896
その他	3,354,858	3,382,265
貸倒引当金	△1,293,676	△1,597,009
流動資産合計	35,892,843	38,103,624
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,085,438	11,087,875
その他(純額)	2,611,611	3,660,306
有形固定資産合計	13,697,049	14,748,182
無形固定資産		
のれん	135,000	120,000
その他	1,890,878	2,026,135
無形固定資産合計	2,025,878	2,146,135
投資その他の資産		
投資有価証券	7,655,097	9,103,744
その他	1,069,841	1,054,263
貸倒引当金	△67,619	△68,321
投資その他の資産合計	8,657,318	10,089,686
固定資産合計	24,380,246	26,984,004
資産合計	60,273,090	65,087,628

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,349,742	1,270,442
短期借入金	125,000	125,000
未払法人税等	1,365,018	1,403,356
契約負債	5,907,561	6,445,583
賞与引当金	748,606	907,939
保証履行引当金	252,391	314,115
その他	5,953,414	6,855,517
流動負債合計	15,701,735	17,321,954
固定負債		
長期借入金	250,000	187,500
退職給付に係る負債	13,545	13,410
資産除去債務	1,885,046	1,927,959
その他	604,924	793,471
固定負債合計	2,753,516	2,922,341
負債合計	18,455,251	20,244,295
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,570,641	1,601,210
資本剰余金	2,840,271	2,870,840
利益剰余金	32,788,867	34,378,818
自己株式	△418,158	△418,158
株主資本合計	36,781,620	38,432,710
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	591,133	996,082
為替換算調整勘定	1,706,346	2,429,942
その他の包括利益累計額合計	2,297,480	3,426,024
新株予約権	249,802	271,314
非支配株主持分	2,488,934	2,713,282
純資産合計	41,817,838	44,843,332
負債純資産合計	60,273,090	65,087,628



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	26,179,880	28,763,278
売上原価	19,849,895	22,059,026
売上総利益	6,329,985	6,704,251
販売費及び一般管理費	2,490,188	2,846,728
営業利益	3,839,796	3,857,523
営業外収益		
受取利息	2,710	4,326
有価証券利息	111,394	139,631
受取配当金	6,433	6,891
持分法による投資利益	125,877	185,795
その他	37,608	21,125
営業外収益合計	284,025	357,770
営業外費用		
支払利息	3,244	1,671
為替差損	59,742	109,041
その他	21,482	32,822
営業外費用合計	84,469	143,536
経常利益	4,039,352	4,071,757
特別利益		
固定資産売却益	818	2,485
補助金収入	9,636	12,211
投資有価証券売却益	1,130	42,341
特別利益合計	11,584	57,038
特別損失		
固定資産売却損	9	—
固定資産除却損	—	9,977
固定資産圧縮損	9,636	12,211
減損損失	613	—
投資有価証券評価損	3,860	—
特別損失合計	14,119	22,188
税金等調整前四半期純利益	4,036,818	4,106,607
法人税、住民税及び事業税	1,356,695	1,470,780
法人税等調整額	10,200	△19,034
法人税等合計	1,366,896	1,451,745
四半期純利益	2,669,921	2,654,862
非支配株主に帰属する四半期純利益	211,087	297,030
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,458,834	2,357,831

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,669,921	2,654,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	119,934	405,346
為替換算調整勘定	858,208	723,595
その他の包括利益合計	978,142	1,128,942
四半期包括利益	3,648,064	3,783,804
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,438,376	3,486,375
非支配株主に係る四半期包括利益	209,688	297,428

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,036,818	4,106,607
減価償却費	867,563	929,826
のれん償却額	3,075	15,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	125,939	300,181
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△125,914	158,709
保証履行引当金の増減額 (△は減少)	62,663	61,723
受取利息及び受取配当金	△120,538	△150,850
有形及び無形固定資産売却損益 (△は益)	△808	△2,485
支払利息	3,244	1,671
為替差損益 (△は益)	35,862	73,459
持分法による投資損益 (△は益)	△125,877	△185,795
補助金収入	△9,636	△12,211
固定資産圧縮損	9,636	12,211
固定資産除却損	6,477	16,302
減損損失	613	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,130	△42,341
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,666	△1,063
売上債権の増減額 (△は増加)	△209,258	△598,170
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△80,254	△79,517
立替金の増減額 (△は増加)	△1,354,208	△2,053,332
その他の資産の増減額 (△は増加)	61,391	△160,662
仕入債務の増減額 (△は減少)	175,549	△151,343
その他の負債の増減額 (△は減少)	219,268	1,104,112
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△195,462	△91,831
契約負債の増減額 (△は減少)	862,147	532,215
その他	49,772	60,796
小計	4,301,600	3,843,213
法人税等の支払額	△1,604,168	△1,417,863
利息及び配当金の受取額	126,754	135,165
利息の支払額	△3,143	△1,607
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,821,042	2,558,907

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△764,336	△2,190,164
有形及び無形固定資産の売却による収入	74,643	3,010
投資有価証券の取得による支出	△729,946	△815,615
投資有価証券の売却による収入	8,411	59,620
投資有価証券の償還による収入	—	146,210
貸付けによる支出	△8,381	△8,656
貸付金の回収による収入	4,608	5,180
差入保証金の差入による支出	△19,493	△18,765
差入保証金の回収による収入	57,047	12,515
補助金の受取額	169,936	368,428
定期預金の預入による支出	△14,995	△10,012
定期預金の払戻による収入	14,743	10,000
その他	△102,283	△1,301
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,310,045</b>	<b>△2,439,549</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△200,000	—
長期借入金の返済による支出	△187,500	△62,500
配当金の支払額	△572,927	△766,229
非支配株主への配当金の支払額	△63,820	△73,079
リース債務の返済による支出	△34,320	△34,318
ストックオプションの行使による収入	11,983	4,576
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,046,585</b>	<b>△931,551</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	416,296	188,972
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>880,708</b>	<b>△623,221</b>
現金及び現金同等物の期首残高	18,218,367	21,651,741
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>19,099,075</b>	<b>21,028,519</b>

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は2023年10月27日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

機動的な資本政策の遂行、及び資本効率の向上を通じて株主利益の向上を図るため。

(2) 自己株式取得に関する取締役会の決議内容

①取得する株式の種類

当社普通株式

②取得する株式の総数

800,000株 (上限)

③取得する期間

2023年11月6日～2024年1月12日

④取得価額の総額

500,000千円 (上限)

⑤取得の方法

東京証券取引所における市場買付